



発行  
開成中等新聞局  
発行責任者 阿部  
\* \* \*  
制作者 佐野



エレベーターに乗る安部前会長。1年間の生徒会長の業務お疲れさまでした。

# 生徒会執行部 新会長決定

今年の生徒会会長選挙は激戦となり、9月3日の決選投票の末、4年3組の瀬田松厚志さんが新生徒会長に当選した。複数の候補が立つ中、最後まで拮抗した選挙戦を制した形だ。陸上部と数学班に所属し、勉強と部活動を両立させてきた瀬田松さんは、「やりすぎくらいが丁度いい」という言葉をモットーに掲げ、日常をより楽しく充実したものにしていこうと誓った。

就任後まず最初に取り組みたいことについて尋ねると、「生徒会内のリーダーとして、まずは組織の中を一旦まとめた」と力を込めた。大きな改革や新

規企画の前に、まずは内部の連携を強め、チームとしての力を高めたという。執行部のリーダーとして、責任をもつてまとめていく構えだ。生徒たちの関心が高



▲インタビューを受ける瀬田松さん

いであろうスマホ解禁については、慎重かつ段階的なアプローチを示した。「まずは一日だけ解禁する試みから始めたい。そのためには、先生方の理解と協力が不可欠です」と語る。単なる規制緩和ではなく、ルール作りや事前の話し合いを大切にし、実施後は生徒の意見を集めながら次の段階へ進む構想だ。拙速を避け、協働的に制度を作っていくことを重要視する。

生徒会執行部といえれば、開成祭や運動交流祭などの大規模行事を思い浮かべるが、瀬田松さんは「特別な一日よりも、日常をいかに楽しくできるか」を重視している。公約で述べた「グリーイベント」は、現時点での具体的な予定はないものの、「アイデアとして『学校全体を使った宝探しイベント』を挙げる。『授業のある日常の中で、執行部がちよっとした遊びを仕掛けることで、友達や先輩後輩のつながりを深めたい』と語り、日常の延長線上に小さな楽しみを加えていく構想を描く。

前任の安部会長の取り組みについても言及した。「安部会長は執行部に新しい技術を導入しました。例えば、情報伝達をLINEからDiscordに移行し、仕事の分担も明確化されました。これはぜひ継続したい」と評価する一方、「上の立場に仕事が集中し

「つまらない開成は、もう終わりです。日常から楽しめる開成に、僕たち生徒会執行部は変えていきたいと思っていますので、この一年間期待しててください！」  
ユーモアあふれる一面と、確かな実行力を兼ね備えた新会長。小さな改革の積み重ねが、学校生活を大きく変える一年となりそうだ。



▲前列左から草野副会長、瀬田松会長、永井副会長、後列左から佐藤書記長、生野会計長

## スマホ解禁や組織改革に意欲

8月28日に、選挙によって新たな生徒会副会長が2名決定した。当選したのは4年2組の永井雄士さんと、4年3組の草野留実さんだ。4名の候補者が立候補した中、過半数の票を得て、決選投票を挟まずに当選を果たした形だ。今回は、2人の抱負や生徒への思いを取材した。

# 余裕を作って面白いことを

## 永井雄士副会長

情報処理班に所属し、デジタル面で生徒会を支えてきた永井新副会長。前会長による執行部内の急速なデジタル化に奔走した一年を振り返りながら、「執行部や教員が忙しすぎる現状を変えたい」と強く語った。

モットーは「いろいろな人が楽しく過ごせる開成にすること」。その思いは、掲げた公約の随所に現れている。

永井さんが重視しているのは、デジタル化

による効率化だ。「教員や執行部が多忙で、やりたいことに手が回らない場面が多い。だからこそ、デジタルで解決できる部分は積極的に進めたい」と力を込める。

その一方で、デジタル化だけに頼らず、必要な部分に人的リソースを集中させることも大切にしている。「余裕が生まれれば、もっと面白いことに挑戦できる」と新たな可能性を見据える。

生徒へのメッセージを伺うと、自らの心残



▲当選した草野留実さん

## 草野留実副会長

「僕自身、開成祭でプリクラをやりたいかつたけど実現できなかった」と後悔を滲ませる。

その上で、「同じように、やりたいけど形にできていないことは誰にでもあると思う。言い出しづらいこともあると思うけれど、教員や執行部に伝えてほしい。時間はかかっても、できる方法を一緒に模索していきたい」と呼びかけた。

前会長の掲げたデジタル改革を引き継ぎつつ、新しい挑戦の準備を進めている。

「任された仕事は、最後まで責任をもってやりきる」。そんな強い姿勢で、草野新副会長は執行部の一員として日々の業務に臨んでいる。他の部活動や班には所属せず、執行部活動に専念してきた。

モットーは「相手の気持ちを考えること」で、地道かつ誠実な姿勢で執行部の業務に取り組んでいる。

草野さんが目指すのは、生徒一人ひとりの声を拾い上げて反映する執行部だ。公約として掲げた、生徒の意見を募集する仕組みを具体化し、フォームなどを通して生徒から広く意見を集める考えだという。「集めるだけでなく、

## 書記長・会計長 新たに選出

10月1日に、執行部の新役員5名の認証式が全校生徒の前で行われた。これをもって、会長ら5名が正式に役員として就任する。生徒会5役と呼ばれる役員のうち、会長と副会長は我々生徒の投票によって決定されるが、書記長と会計長は会長らの指名によって決定する。

今回は書記長に4年4組の佐藤美梨さん、会計長に4年4組の生野航平さんがそれぞれ選出された。

佐藤さんは、「書記長として、執行部内の会議の内容を記録したり、書類をまとめたりして執行部の活動を円滑に進められるよう頑張ります」と意欲を見せた。生野さんは、「会計長として、会長と副会長の公約をよりよく実現させるために、予算面で円滑に執行部内の業務を進めていきます」と力強く語った。

# 声を集め、最後まで形に



▲当選した永井雄士さん